

令和 6 年度開校 特認校について

1 島田市小規模特認校の状況

島田市では、学校選択制の「特認校制」のうち、「小規模校」において取り入れられている制度を活用し、伊久美小学校を「小規模特認校」として平成 15 年度から運用している。「島田市立小中学校再編計画（令和元年 8 月）」において、「特認校制度は、継続することを前提として、実施校を他校に変更することとする。」とし、令和 2 年 11 月に実施された島田市総合教育会議の協議の結果、「川根小学校」「大津小学校」が候補校として挙げられた。

2 候補校となった経緯と各学校の特色

(1) 候補校の要件

- ・比較的小規模校であり、個に応じた指導・支援が期待できる。
- ・地域の方々から様々な支援が得られ、交流活動が期待できる。
- ・地域の自然を生かした特色ある教育活動を推進している。

(2) 候補校の特色ある活動

川根小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・あっちこっちハイキング、手もみ茶体験、ささま体験教室、陶芸教室等 ・地域の方々を講師に招いたクラブ活動 (パラグライダー、ブッシュクラフトクラブ、写真クラブ等)
大津小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大津谷川やカワセミ公園での生き物探検、城山や千葉山等の地域探検、お茶摘み体験、手もみ茶体験、田植え体験等 ・地域の方々を講師に招いたクラブ活動 (昔の遊びクラブ、茶道クラブ、なるほどワールドクラブ等) ・地域の方々の協力による森を守る愛鳥・愛護林活動 (バードウォッチング、シイタケの菌打ち体験等)

3 次年度以降予定される児童数

(1) 候補校の入学及び入学予定児童数（1 年生） 令和 4 年 4 月 28 日現在 単位：人

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
川根小	17	12	11	12	13	12
大津小	42	27	30	19	24	20

(2) 全校児童数及びの予定児童数

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
川根小	165	134	117	100	93	72
大津小	206	178	178	164	162	156

4 通学方法について

(1) 考えられる通学手段、時間

登校時間 8:00	川根小学校	①コミバス川根温泉線 島田駅 8:05→家山駅 8:55 ②コミバス伊久美線 (山の家からスクールバス) 島田駅 7:00→山の家 7:32→スクールバス 7:50 ③JR+大井川鐵道 島田駅 6:20→金谷駅 6:40→家山駅 7:11
	大津小学校	(1)コミバス大津線 島田駅 7:37→落合春日神社 7:47 (2)しずてつジャストライン金谷島田病院線 島田駅 6:48→島田市立総合医療センター 6:57
下校時間 学年や曜日によって変動	川根小学校 13:20 14:20 15:15 16:15	①コミバス川根温泉線 家山駅 14:19→島田駅 15:08 家山駅 16:39→島田駅 17:28 ②コミバス伊久美線 (山の家までスクールバス) 山の家 15:33→島田駅 16:05 山の家 16:43→島田駅 17:15 ③JR+大井川鐵道 家山駅 15:22→金谷駅 15:57→島田駅 16:13 家山駅 17:36→金谷駅 18:08→島田駅 18:17
	大津小学校 13:50 14:00 14:15 14:45 15:40	(1)コミバス大津線 大津小学校 15:14→島田駅 15:26 落合春日神社 15:36→島田駅 15:49 大津小学校 16:44→島田駅 16:56 (2)しずてつジャストライン金谷島田病院線 島田市立総合医療センター 13:50→島田駅 14:00 島田市立総合医療センター 14:50→島田駅 15:00 島田市立総合医療センター 15:20→島田駅 15:29

(2) 考えられる通学手段に係る費用

川根小学校	①コミバス川根温泉線 ②コミバス伊久美線 ③JR+大井川鐵道	往復 300 円 年間:60,900 円 往復 300 円+スクールバスに係る費用 (バス購入維持費、運転手人件費等) 年間:60,900 円+約 400 万円 島田駅⇄金谷駅 180 円 大井川鐵道 金谷駅⇄家山駅 830 円 年間:205,030 円
大津小学校	(1)コミバス大津線 (2)しずてつジャストライン金谷島田病院線	往復 200 円 年間:40,600 円 往復 180 円 年間:36,540 円

- ・コミバスは実利用回数で公費支払が可能
- ・路線バス、鉄道乗車時に現金払いをした場合、公費での負担は不可。ただし定期券購入費用については公費支払が可能

5 まとめ

(1) 二校の比較

	川根小学校	大津小学校
学校の規模（1学年）	20人以下 （R6年度以降、市内で最も児童数の少ない学校になる）	20人以上
地域の自然	野守の池、天王山 等	大津谷川、城山、千葉山等
地域での受入れ意思	有	有
学校の主な特色	小規模校であり地域活動も盛んに行われている。	地域と共に愛鳥活動に取り組み、伝統行事としてバードウォッチングを実施している。
登下校にかかる時間	島田駅から約1時間 ・既存の公共交通機関での通学は難しい ・下校時間によっては手段が変更になる	島田駅から約30分 ・既存の公共交通機関での通学は概ね可能 ・下校時間によっては乗車するバス停（路線）が変更になる。

(2) 伊久美小学校での対応

ア 特認校利用者の小学校卒業後の進路について

- ・現在、小規模特認校を利用している児童は島田第一中学校か、本来の学区の中学校かを選択できる。

イ 通学費の補助について

- ・小規模特認校を利用している児童についてコミバスの費用を公費で補助している。
- ・下校時、時間が合わない時は公用バスで対応している。